

たばこ事業

「強力ブランド構築」

JT 島川東海支社長が来社

日本たばこ産業(JT)の島川敏彦東海支社長らが18日、岐阜新聞本社を訪れ、碓井洋社長と面談し、たばこ事業の強化策や企業の社会的責任(CSR)活動の意義を語った。島川支社長は国内たばこ事業について、世界第2位のウイinstonブランドにキャビンとキャスターを統合し、パッケージデザインをリニューアルしたほか、ピース誕生70周年を記念し、限定商品「ピース・クラシック」を紹介。

島川支社長は国内た

「ピース・クラシック」

CSR活動では、全



「価格帯ごとに強力なブランドを構築したい」と語る
島川敏彦東海支社長 岐阜新聞本社

その上で「お客さまに応じてさまざまな価格帯の商品を投入する中、価格帯ごとに強力なブランドを構築したい」と述べた。

CSR活動では、全国で森林保全活動「JTの森」を展開。県内では2008年から中津川市で活動し、「参加する社員と地域の人とのつながりが強くなっている」と語った。喫煙環境の整備について「私たちの責務」と強調し、引き続き推進するとした。